

2019年度 女子中高生理系進学推進セミナー開催レポート

2019年8月7日、名古屋大学にて「女子中高生理系進学推進セミナー」を開催しました。本セミナーは、女子中高生の皆さんに理系分野の面白さや魅力を伝え、将来の進路選択の参考にさせていただくことを目的としています。当日は約190名（中高生、保護者、教員、研究者など）の参加があり、会場は活気に満ちていました。

当日のプログラム

- 13:30～ 開会式
- 13:35～14:15 特別講演（会場：豊田講堂3階 第1会議室）
 - ① 博物館 西田佐知子 准教授
「生物を研究すると、世界の見え方が変わります」
 - ② 工学研究科 稗田純子 准教授
「魅力いっぱいの『材料』という研究分野」
- 14:15～14:20 ポスターガイダンス
（生命農学研究科 山崎真理子 准教授）
- 14:30～15:30 ポスターセッション（中2階ギャラリー）
- 15:40～15:50 総長賞授与式・閉会式

特別講演

西田佐知子准教授の講演では、生物学を通して自然界をさまざまな角度から観察する面白さが紹介されました。「オスとメスの派手さの違いについて初めて知り、感動した」「生物の研究が、日常生活の中でも役立つ視点になることを知った」など、参加者からは多くの感想が寄せられました。

稗田純子准教授による材料工学の講演では、材料が社会で果たす役割や未来の可能性についてお話しいただきました。「材料の話は難しそうだと思っていたけれど、実はとても身近で面白いと感じた」「研究者の方が楽しそうに話している姿が印象的だった」という声が多く、理系の進路への関心が高まった様子が伺えました。

ポスターセッション

ポスターセッションでは、若手女性研究者や大学院生が自身の研究内容をポスター形式でわかりやすく紹介しました。参加者は自由に展示を回り、直接質問したり意見交換をしたりすることができ、研究の最前線を体感する貴重な機会となりました。

中高生の感想（一部）

- 「説明がとても丁寧で、質問しやすい雰囲気がありがたかった」
- 「難しかったけれど、もっと学びたいと思った」
- 「研究内容に個性があって、自分の好きなことを追求する大切さを感じた」
- 「先輩たちがいきいきと説明している姿が印象的で、私も挑戦してみたいと思った」
- 「知らない分野の話も面白く、自分の興味が広がった」

保護者・教員の感想

- 「研究者と直接対話できる機会はとても貴重で、子どもにとって大きな刺激になった」
- 「女性研究者の姿を間近で見て、女子中高生が理系を目指す良いきっかけになった」
- 「将来の進路を考える上で、親としても非常に参考になった」

総長賞 受賞者

優れたポスター発表には名古屋大学総長賞が授与されました。

- Zhama Shu（理学研究科 D3）
「Nucleic Acid Delivery System Based on Disulfide Unit」
- 稲石日奈子（情報学研究科 M1）
「IoT の AI をやわらかハードウェアで作る」
- 衣笠菜月（環境学研究科附属地震火山研究センター 研究員）
「海底地殻変動観測」

アンケート結果と全体の反応

アンケートでは、多くの中高生が「理系への興味がさらに高まった」「進路選択の参考になった」と回答しました。「理系科目に対して難しそうという印象があったが、今回の講演やセッションで楽しいと思えるようになった」「女性研究者が自分の好きなことを追求している姿に憧れた」など、前向きな声が数多く寄せられています。

まとめ

本セミナーは、女子中高生が理系の魅力に触れ、自分自身の将来について考える貴重な機会となりました。名古屋大学では、今後も女子中高生の理系進学を積極的に支援し、一人ひとりが夢に向かって一歩を踏み出せるような取り組みを続けてまいります。



講演会場の様子



ポスター発表の様子